

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス

...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第16号
2004.2

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
URL: <http://www.npocommons.org>
E-mail info@npocommons.org

NPOだからできること

コラム

NPOと行政の協働の論議が花ざかりである。NPOも行政も公益に資することを目的とする組織だから、重なる部分があるのは当然だ。範囲は狭く、公平性も十分ではないかもしれないが、「行政がやるべき」以上のことをやるのがNPOだ。できるところから、迅速に、先駆的に動くのがNPOの特色だからだ。そう考えると、NPOへの行政の財政的支援は補助金の方が望ましいように思われる。「行政がやるべき」ことを、「安くつく」からNPOへ委託するのは間違っている。それなら、行政が切り詰めればすむ話だ。

私が事務局を務めるつくばアーバンガーデニングは、6年間、行政と協働事業を行ってきた。市民を中心に、市の担当各課、企業、大学などの専門家がいった実行委員会として始まり、1年前にNPOとなった。実行委員会時代は市から補助金を受け、NPOとなってからは事業の一部を委託されている。

実行委員会だったことで思い切った事業を展開でき、踏襲する形で一部が委託事業となった。日本にまだ少ない良好な協働の事例と自負している。こうなるまでには、6年間の産みの苦しみがあつた。しかし、6年間、事業は続けてきたのであり、その事業は地域を変えてきた。協働の決定版はまだないが、まずは始めてみることに。その際、「NPOだから、できること」を見失わないようにすることが大切だと思う。

(文 理事 井口百合香)

茨城県認証NPO法人

184 (1月26日現在)

内閣府認証県在NPO法人

48 (1月30日現在)

勤労者マルチライフ支援事業
勤労者ばらんていあ・ねっと

<http://www.volunteer-net.jp>
余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コムズは、あなたの社会貢献活動を応援しています！
「セカンドライフ」の充実を！

「住民流」福祉のまちづくり



住民流福祉総合研究所 木原孝久さん

茨城県は、地域での助け合い活動を応援し、ネットワークを広げつつ地域のニーズに応じて活動していく人材を「地域福祉プロモーター」と名づけた。1月10日から始まった「地域福祉プロモーター養成講座」での木原孝久さんの講演のエッセンスを紹介する。

「このおばあちゃん、困ったときに「助けて」と言える「助けられ上手」であるとともに、近隣住民の悩みを聞いてあげる「世話役」でもあったのだ。

心の貸借対照表

人間は誰でも「心の貸借対照表」をもっているという。いつも助けてもらえばかりでは、借りが増え、心のバランスを崩してしまう。

地域住民は、さまざまな生活課題を抱える当事者同士でもある。「お互いさま」の気持ちで助け合うからこそ、助けられた時の気持ちがよくわかり、結果的に相手のプライドを傷つけない援助ができる。これが「福祉関係者流」との根本的な違いである。

これからの福祉とプロモーター

厚生労働省の地域福祉計画の指針では、「福祉の基本はすべての住民による支え合いであり、これからの福祉は、その人らしい生き方の実現をサポートすること」とされている。

しかし、「住民による支え合い」といっても、住民はそんなに頼りになるの？」「地域力が落ちて、住民の支え合いなんて無理だよ」とそんな福祉関係者の声の木原さんに寄せられる。木原さんは言う「住民の中に入って見てご覧よ」と。住民に力が

ないのではない。「日常の中でさりげなく住民流にやっている」ので福祉関係者には見えないだけ」なのだ。

少子高齢化と住民のニーズの多様化。これまでのように福祉関係機関や関係者だけでは限界があり、住民を抜きに福祉のまちづくりは成り立たない。

どの地域にも、近所の「世話役」がいる。その人たちは「福祉」をしているとは思っていないが、実際にはその人らしい生き方をサポートする役割を担っている。ところが、介護保険制度が始まり、専門家から「素人は手を出すな」といわれるケースが増えている。

住民同士の関わりを切るのではなく、地域の資源とネットワークをサポートし、住民同士の助け合いにゆだねていく。これからの専門家には、こういった発想が求められる。これまでの「福祉関係者流」から「住民流」の福祉への発想の転換である。そして、住民の流儀をわきまえ、地域の世話役に「お疲れ様、何か手伝えることはない？」と、地域の助け合い活動をさりげなく応援するプロモーターが必要とされていると木原さんは語る。

(写真 内田 真、文 菅野ひろみ)

わかるふくしネットワーク
住民流福祉総合研究所
〒171-0014 東京都豊島区池袋2-23-23 白鳥ハイソク1
Tel 03-5960-7054
Fax 03-5950-7053

NPOのひとびと

住民のニーズが見えない

木原さんは、福祉施設職員、福祉・医療関係雑誌の編集記者など、30年以上福祉の現場に身を置いている。その中で、「サービスを提供する」という福祉関係者(福祉の専門家)からの一方のやり方だけでは、住民のニーズが見えないことに気づいた。

地域住民が日常生活の中で助け合う営みを丹念に調べてみると、それぞれの力を活かした「住民流」で、福祉の営みが生活に根付いていた。

住民の流儀

地域での助け合いは、何らかの生活課題を抱えた当事者が「困っているから助けて」と声を上

げるところから始まる。主役はあくまで当事者である。そして、その当事者は、助けられることもあれば助けることもあり、サービスは双方向で循環している。

半身不随で要介護2と認定されながら、公的サービスを受けていないおばあちゃんを木原さんが訪問した時のことである。そこには、4、5人の近隣のボランティアが来ていた。

「それでねえ、威張ってるんだよ、そのおばあちゃん。そこ、サボんないでよ、とか言って」と木原さん。「何で世話してやってんの、あんなに威張らせてるの」とボランティアの人に尋ねると、「いいのよ、私たちね、困ったことがあるとあのおばあちゃんに聞いてもらってるんだよ。だから、そのお返しに言っちゃなんだけど、買い物とかしてあげてるんだよ」と

「地域福祉を考える集い」県内5地域で開催

茨城県と県内NPOが協働して行っている「地域福祉住民参加促進事業」。その一環として「地域福祉プロモーター養成講座」を進めてきました。これに引き続き、「地域福祉を考える集い」を県内5地域で開催します。

水戸市 日時 2月21日(土)13:00~16:30 会場 水戸市福祉ボランティア会館
基調報告 細谷清子さん(「自立生活センター・ライフサポート水戸」事務局長) パネ

ラー 生活支援ネットワークこもれび、くれよん工房、ユーアイ村 資料代500円 高萩市 日時 2月29日(日)10:00~12:00 会場 高萩市総合福祉センター 講演 中村順子さん(コミュニティ・サポートセンター神戸理事長) 資料代500円 下館市 日時 3月13日(土)13:00~16:30 会場 しもだて地域交流センター「アルテリオ」 基調講演 秦靖枝さん(県立医療大学) パネラー 下館地域在宅介護を支える会、岩井こども劇場、結城災害救援ボランティア連絡会、(特)エイエスピー

入場無料 阿見町 日時 3月14日(日)13:00~15:00 会場 阿見町中央公民館
シンポジスト アニマルセラピー協会ほか 資料代500円 玉造町 日時 3月6日(土)13:00~16:00 会場 玉造町中央公民館 講師 秦靖枝さん(県立医療大学) 活動発表 ピコット、ばれっと、ナルクかしま、袋の会 資料代500円
申し込み・問い合わせ 茨城NPOセンター・コムズ(内田、成田)
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
E-Mail: fukushi@npocommons.org

トピックス

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

受賞おめでとうございます!

NPO緑の会

平成15年度地域づくり総務大臣表彰人と自然にやさしいまちづくり部門受賞! (平成16年1月23日(金)、都道府県会館) 表彰を受けるのは、魅力あふれる地域づくりを積極的に推進し、顕著な功績のあった市区町村や地域づくり団体です。取手市のNPO法人NPO緑の会(代表 恒川敏江さん)は、生ごみリサイクル活動を10年にわたって続けてきました。行政との協働も行い、現在では830世帯、年間100トンもの生ごみを堆肥に変えています。この場にてお祝いを述べさせていただきます。受賞おめでとうございます!

イベント案内

森住卓写真展「Children of the Iraqi War イラク戦争の子どもたち」 戦禍と核汚染の中で生きる、イラクの子どもたちの写真を展示します。 日時 2月20日(金)正午~午後7時 21日(土)午前10時~午後7時 22日(日)午前10時~午後6時 場所 水戸市銀杏坂市民ギャラリー(水戸駅北口徒歩5分、水戸中央郵便局隣り) 入場料 無料 問い合わせ 野口さん(みと市民講座) Tel 090-2912-5438 E-mail: eco-wan@ezweb.ne.jp 次の世代を守る会20周年記念公開討論会 《子どもが危ない! 日本が危ない!》 子どもたちの心身が病んでいます。真っ当な社会を支える真っ当な人間を育てるために私たちは何をすべきなのか。識者の皆様にご意見を聞いて、活発な討論をしたいと思ひます。みなさんぜひご参加を。 日時 2月22日(日)午後1時半~5時頃 場所 県民文化センター 小ホール パネラー 養老孟司さん(北里大学教授) 森実真弓さん(農家・翻訳家) 小島正美さん(毎日新聞編集委員) コーディネーター 寛次郎さん(同会代表・スワラジ学園学園長) 定員 470名(当日、先着順に整理券を配布) *定員を上回った場合は、ロビーのモニターでご覧になれます。 参加費 無料 問い合わせ スワラジ学園 Tel 0299-36-5255 Fax 0299-36-5256 講演会「共に育つこと」~普通学級に障害児を受け入れてきた経験を通して~ 共に育つことの大切さを現場で感じている小学校の先生、片桐さんのお話です。 日時 2月28日(土) 午後1時半~3時半 場所 水戸市福祉ボランティア会館 (赤塚駅ミオス2階) 講師 片桐健司さん(障害児を普通学級へ・全国連絡会運営委員) 参加費 (資料代含) 会員300円 非会員500円 託児 先着30名 会員300円 非会員500円 申し込み 2月22日(日)まで 問い合わせ NPO法人水戸共に育つ会(事務局) Tel&Fax 029-254-6432 Tel 090-9317-5979 E-mail: mitotomo2003@ezweb.ne.jp むかしむかし絵本とともに旅をして ~川端誠さんの開き読みの世界~ みなさまと一緒に、落語絵本の楽しさや、作家

自身の絵本に対する情熱に触れてみませんか。 日時 2月29日(日) 午前の部 10時半~11時半 自作絵本の開き読み 午後の部 2時~3時半 自作絵本の解説や製作過程の裏話など 場所 ふれあいの里石岡 ひまわりの館 定員 午前の部100名 午後の部100名 参加費 子ども500円(小学生以上) 大人1,000円、午前午後共通券1,500円 主催 おはなしグループ むかしむかし 後援 いしおか子ども劇場 NPO法人まちづくり市民会議 申し込み・問い合わせ Tel 0299-23-2746(小貫さん) Tel 0299-23-4468(鈴木さん) 特別企画 広く教育に関わる人のための講座 子どもの教育~こころと耳を澄まして~ 「なんだか、子ども達が変わってきている」と感じたことはありませんか? 「子ども達と、もっとながっていたら」と思ったことはありませんか? そんな方々と一緒に仲さんの話を聞き、考えていきたいと思います。 日時 3月10日(水)午後4時半~6時半 場所 学校法人公土園 大久保幼稚園(日立市) 講師 仲正雄さん(シュタイナーの治療教育家、ドイツ在住) 定員 30名 参加費 2,000円 申し込み・問い合わせ 学校法人公土園 大久保幼稚園 Tel 0294-33-2274 Fax 0294-38-2584 生きる力を育むために ドイツから仲正雄さんをお招きして 親として、あるいは教育者として、「生きる力」について考えてみませんか。仲さん曰く「このテーマには切り口に限りがない!」とのことです。前回参加なさった方、今回初めての方など、皆さんお誘い合わせの上ぜひご参加ください。 日時 3月11日(木)午前10時~正午 場所 日立市視聴覚センター 大ホール (常陸多賀駅から徒歩7分) 定員 150名 資料代 500円 *講演会へのお子様の入場はできません。 託児 要予約(1人500円、先着30名、2月28日まで) *午後には「声のワークショップ」もあります。 詳細はお問い合わせください。 申し込み・問い合わせ 上記に同じ 第7回環境パートナーシップフォーラム ~資源としてゴミを活かすために~ 環境問題への市民、行政、企業それぞれの取り組み、あるいは連携した取り組み事例の発表、グループ討議を通して互いに理解を深めます。それぞれの資源を活かした、自分たちが取り組める具体的な事業の可能性を探りましょう。 日時 3月26日(金)午後1時~5時 場所 茨城県産業会館(水戸市桜川、JR水戸駅南口徒歩1分) 事例発表 「株式会社カスミ」 「NPO法人NPO緑の会」 「北九州市エコタウン」 定員 80名(先着順) 参加費 市民、行政の方は無料 (企業関係者は2,000円) 問い合わせ 社団法人茨城県経営者協会 (担当 澤畑英史さん) Tel 029-221-5301 Fax 029-224-1109 E-mail: sawahatah@ikk.or.jp

NPO 一日体験 レポート

NPO法人 水戸こどもの劇場

Tel&Fax 029-255-0908 〒310-0911 水戸市見和1-449-1



びよびよランドの様様

地域福祉プロモーター養成講座の現場実習を「水戸こどもの劇場」で履修させていただきました。

今までこの団体についての知識は全くありませんでしたが、代表の森田さんからお話をお聞きし、全国に同様の団体があることを知りました。1966年に福岡で設立されたのが最初で、現在は700以上の団体があり、111の団体がNPOに認証されている大変大きな組織で、長年に亘って市民活動をされてきた大先輩であることが分かりました。

「水戸こどもの劇場」は1971年に設立され33年の歴史を持つ老舗で、「こどもに夢を!たくましく豊かな創造性を!」を合言葉に活動を続けて来られているとのこと。

今回はミオス(水戸市福祉ボランティア会館)で行われている若いお母様と幼児のための子育て支援活動「びよびよランド」で実習をさせていただきました。ここでは、実に落ち着きのある、ゆったりとした、安心できる時間を参加者の皆様に提供されていて大変感心いたしました。驚いたことは、この様に素晴らしい結果が出ているのに、ご用意されたことは、場所の提供と段ボール箱3つのおもちゃをお持ちになっただけで、あとは優しく見守っていらっしゃることでした。母の視線とでも言うのでしょうか、これが大事なのですね。ここに長年培われた実績とご経験が良く生かされていると感じました。

これまで私の活動した行事というと、事細かに計画を立て、種々の材料をこれでもかと用意したものです。がんじがらめで主催者ばかりか参加者も疲れはててしまい、挙句の果ては評判が下がり長く続かないということが数多くありました。

今回の実習で33年の長きに亘る活動の秘訣を垣間見た気がいたしました。肩肘を張らず無理をしない自然体でしょうか? さすが大先輩! 今後のご活躍をお祈りいたします。今回は大変お世話になりました。御礼申し上げます。



(文と写真 武田裕さん 地域福祉プロモーター養成講座 受講生)

ボランティア募集

ホームページ作成ボランティア募集 引きこもりの若者たちのケアに取り組んでいる「すだち」のホームページを作成してくれる方を募集します。(交通費支給) 問い合わせ フリースペースすだち(内原町、代表 須田さん) Tel 029-259-2774 障害をもつ子のためのボランティア講座 ボランティアに興味のある方、障害をもつお子さんとその家族の方を対象とした講座です。学生さんも大歓迎! 日時 3月13日(土)午後1時半~3時半 場所 水戸市福祉ボランティア会館 (赤塚駅ミオス2階) 参加費 大人のみ500円(学生300円) 申し込み 3月10日(水)まで 問い合わせ NPO法人水戸共に育つ会(事務局) Tel&Fax 029-254-6432 Tel 090-9317-5979 E-mail: mitotomo2003@ezweb.ne.jp

五軒町 だより 事務日誌にかえて

春の準備



ドーン! 外から大きな花火の音。 間をおいてあちこちから聞こえてきます。こんな季節に何だろう? 聞けば、地域の神社などで行われている節分の行事の知らせなのだとか。そう言えば大通りでも福豆売りの声が聞こえたなあ。この様子ではなかなか盛大な節分のような、私が育ったところでは、それぞれ自分の家で豆まきをするくらいであまり大行事という感じはなかったので少し驚きました。ところ変われば、ですね。 鬼を払って福を呼び、これから春を迎えるための準備。つつい忙しく過ぎてしまうけれど、この人たちはそんな節目をととても大切にしているのですね。

(絵と文 草間多佳子)

ハモナカフェ(☎029-871-2157) 水戸芸術館(☎029-227-8111) 水戸カトリック教会(☎029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」 本紙常備(☎0294-72-8888) 自然食レストラン「パンブキン」(☎0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(☎0294-72-8888) カフェ「ピア施設・お店 ニッシモ」(☎029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(☎029-254-3752) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(☎029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(☎029-228-1313) 交流サロoonいばらき(☎029-302-2160) 水戸市国際交流センター(☎029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(☎029-309-4141) まちの駅みと(☎029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(りつん)」(☎029-856-0009) つくば市市民活動センター(☎029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(☎0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(☎0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(☎0297-46-3370) 下館市立図書館(☎0296-24-3530) 県西生涯学習センター(☎0296-24-1151) 県南生涯学習センター(☎029-826-1101) 県立図書館(☎029-221-5569) 水戸市立中央図書館(☎029-226-3951) 水戸市立西部図書館(☎029-255-5651) 水戸市立東部図書館(☎029-248-4051) まちかど情報センター(☎0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(☎029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(☎029-273-3281) 阿見町市民活動センター(☎029-888-2051)

あとがき 地域福祉プロモーターの会は大盛況。特に寸劇は、(横)自分が感じていることに気づかずにしてしまうこと、結構ありそうだと思う。(くまちゃん) いろんな人に出会い、自分の中身が増えていくこのこころ良さはたまりません!(う) 木原さんのお話、目からウロコだなあ。(か) 心を開かなければ「福祉」はできない。(カムイ)